

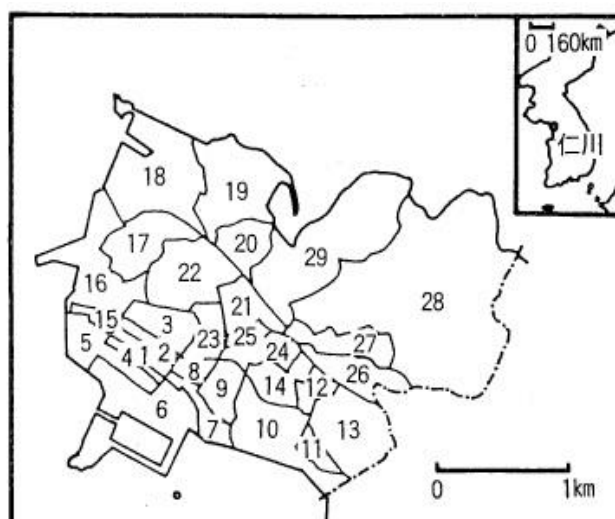
## 仁川にあった共同洗濯場

戦前の朝鮮半島では洗濯用水不足と洗濯環境の衛生化の観点から各地に共同洗濯場が作られた。1930年代前半までに作られたものが多く、30年代後半以降に作られたものは少ないとのこと。仁川にも3ヶ所の共同洗濯場が作られていた。

番号	場 所	名 称	作られた時期
1	仁川府龍岡町1番地	仁川府龍岡共同洗濯場	1922年4月
2	仁川府金谷里	仁川府金谷里共同洗濯場	1924年5月
3	仁川府新花水里112番地	仁川府新花水里共同洗濯場	1931年12月

当時日本人が多く住んでいた本町、仲町、山手町、海岸町、宮町、寺町、花町などには共同洗濯場はなく、韓国人が多く住んでいた地域に作られたようである。

共同洗濯場の設置者、管理者は仁川府となっていて、1936年調査時の使用料は無料だった。水源は井戸、ため池となっている。



仁川府の行政区域（1932）

- |         |         |          |         |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 本町   | 2. 仲町   | 3. 山手町   | 4. 海岸町  |
| 5. 港町   | 6. 濱町   | 7. 宮町    | 8. 新町   |
| 9. 寺町   | 10. 花町  | 11. 敷島町  | 12. 柳町  |
| 13. 桃山町 | 14. 栗木里 | 15. 支那町  | 16. 花房町 |
| 17. 松坂町 | 18. 萬石町 | 19. 新花水里 |         |
| 20. 花平里 | 21. 龍岡町 | 22. 山根町  | 23. 内里  |
| 24. 外里  | 25. 龍里  | 26. 牛角里  | 27. 金谷里 |
| 28. 松林里 | 29. 松峴里 |          |         |

### 参考文献

植民地期朝鮮半島における公設洗濯場に関する研究：坂本文彦

仁川における民族別居住地分離に関する研究：尹正淑